

## 大津市の地震被害予測結果 (人) 1303,615人、116,530世帯)

想定:琵琶湖西岸断層帶地震で、堅田断層部北部が破壊開始点となった場合

発生時刻	早朝	昼間	夕刻
死者	771人	584人	560人
負傷者	3,573人	2,865人	2,706人
うち重傷者	198人	153人	151人
避難者			40,131人
炎上出火	23件	52件	70件
全壊		24,334棟	
半壊		20,045棟	

## 大的被害

## 建物被害

## 大津市の主な地震対策

全対象施設	新耐震基準施設	第1次耐震診断実施数
小中学校舎	293棟(40校)	118棟(32校)
同 体育館	27棟(27校)	22棟(22校)
支所・公民館等	31棟	9棟
総合・地区体育館	9棟	0棟
市民病院	7棟	5棟
食糧の備蓄	75,000食	
飲料水の備蓄	3 <sup>1</sup> 給水車 2台、2 <sup>1</sup> 給水車 2台 給水袋(10t) 15,000袋 2tペットボトル 3,060本	
水管管耐震化	1,059km(10.1%)	



## 「次は危ない」意識必要



## 大津の対策

琵琶湖西岸断層帶地盤の想定震源域を抱える大津市。阪神大震災クラスの大規模地震が予想されている。急ピッチで進む同市の対策や市民に求められる役割を、川端防災監に聞いた。(聞き手=大津支局・吉岡雅幸)

最大震度7、死者7人があくまで建物倒壊による百七十一人が予想される。火災による焼死者など、予測が難しい二種別表。

「二〇〇三年、政府の

地震調査委員会が

琵琶湖西岸断層帶で今後三十年以内にマグニチュード(M)7・8程度の地震が起る確率が最大9%と発表した。死者数

り着けなかつた上に、防

火水槽が損壊したと聞く。各地域に耐震型の防火水槽を設置したが、自らの初期消火に期待している。本部設置できるが重い。福岡県西方沖地震が発生したからだ。

主防災組織や消防団によ

る「いかに早く災害対策

にもかわらずわずか一

十分で職員が参集したそ

ることで、今まで災害

がなかったから大津は大

丈夫」という意識を今まにやるべきことは多

ない。建物の耐震強化

構造で約三百平方メートルを切り替えてもら

ての家に住んでいます。戸が開くくらい揺れまし

て二百年的木造隣接建

動がなかった部屋の引き

が、大津にはこれまで大

きな自然災害が少なく経験を高めることは急務

だ。

「これは市民にも言え

ます。だからこそ、今ま

で、自分の命を守るた

めにやるべきことは多

い。

「いつかは大丈夫

」と語る川端防災監=大津市役所で

ほしい

南北に長い市の中

形。孤立の危険は。

「緊急輸送路の国道1

6号と湖西道路は、液

化現象の危険がある湖

岸沿いや活断層帶上を走

っており、分断される恐

れがある。へりや湖上か

らの救助も視野に入れる

はずは災害時の指揮的役割

トアセント

トアセント